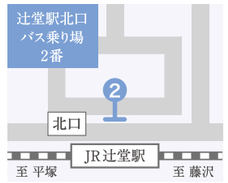
アクセス

【湘南台駅】からバス利用の場合

湘南台駅**西口1番**バス乗り場から、神奈中バス「**湘23系統慶応大学**」「**湘24系統笹久保経由慶応大学**」「**湘25系統急行・慶応大学**」行きに乗り、「**慶応大学**」バスロータリーで下車(約10～15分)。
バス停から徒歩1分。

【辻堂駅】からバス利用の場合

辻堂駅**北口2番**バス乗り場から、神奈中バス「**辻34系統慶応大学**」「**辻35系統急行・慶応大学**」行きに乗り、「**慶応大学**」バスロータリーで下車(約20分)。バス停から徒歩1分。



病院概要

病院名	湘南慶育病院
病院所在地	〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤4360番地
設　立	2017年(平成29年) 11月
病床数	230床
診療科	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓・内分泌・代謝内科、脳神経内科、外科、消化器外科、整形外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科
敷地・建物概要	敷地面積：30,579.20㎡ 建築面積：3,685.17㎡ 延床面積：15,393.88㎡
運　営	医療法人社団 健育会

TEL 0466-48-0050　［一般外来受付時間］ 月曜日～金曜日　午前 8:30～11:30　午後 13:30～16:00

http://keiiku.gr.jp/

1908-2500

医療法人社団 健育会

湘南慶育病院

Shonan Keiiku Hospital

湘南慶育病院の理念

藤沢市の「健康と文化の森地区」に生まれた湘南慶育病院は、
地域医療から質の高いリハビリテーション・
慢性期医療に至るシームレスな医療を提供し、
また、大学との連携による健康増進・抗加齢医学など
最先端の研究を実践いたします。
そして皆さまの「その人らしい」生き方を尊重します。

医療法人社団 健育会

理事長 竹川 節男 *Setsuo Takekawa*

健育会グループは1953年に創業し、主に東日本を中心に8病院・2クリニック・13介護施設・47介護事業所を有する医療法人グループです。この湘南慶育病院は、今まで健育会グループで培ってきたリハビリテーションの経験、そして2次救急の経験を存分に活かすことができる病院であると自負しております。

当院の最大の特徴としては、日本で初めて大学と密に連携する民間病院ということです。私が慶應義塾大学の医局に在籍していたご縁から、藤沢市の掲げる「健康と文化の森」地区内における病院計画のお話しをいただき、病院開設の検討をすすめて参りました。隣接する慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス、そして慶應義塾大学医学部と共同し、健康・高齢社会抗加齢研究／医療ビッグデータ研究／ヘルスインフォマティクス研究など最先端の健康長寿社会の延伸に向けた取り組みを進めて参ります。

健育会グループの強みであるチーム医療を活かし、さらに、高度な医療も提供できる病院に成長し、藤沢市の皆さんの健康な暮らしを実現していくとともに、この藤沢市から「日本の豊かな健康長寿社会づくり」に貢献して参ります。

Profile

1955年生まれ。1981年獨協医科大学卒業。慶應義塾大学病院にて研修医、専修医過程終了、医学博士号取得。1995年医療法人社団 健育会理事長に就任。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任教授、獨協医科大学医学部 特任教授を兼任。

湘南慶育病院

院長 鈴木 則宏 *Norihiro Suzuki*

湘南慶育病院は2017年に開院した新しい病院です。病棟は光を取り入れる建築構造によりとても明るく、また自然豊かな藤沢市遠藤という土地柄もあってか、病院内には優しく穏やかな空気が流れており、病気を治すという点においてとても良い環境立地を備えております。

この病院の強みは、一般病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟と幅広いジャンルの病棟があり、急性期・回復期・慢性期、どの時期の患者さんにも対応ができること、そしてそれにより高齢化社会の中で疾患を抱える高齢の患者さんが増える中、疾患の治療はもちろんのこと疾患によって起こりうる二次的な疾患にも対応できることです。特に高齢者の疾患治療においては、生活機能も重視し、患者さんを全人的に捉えた治療を行っていきます。

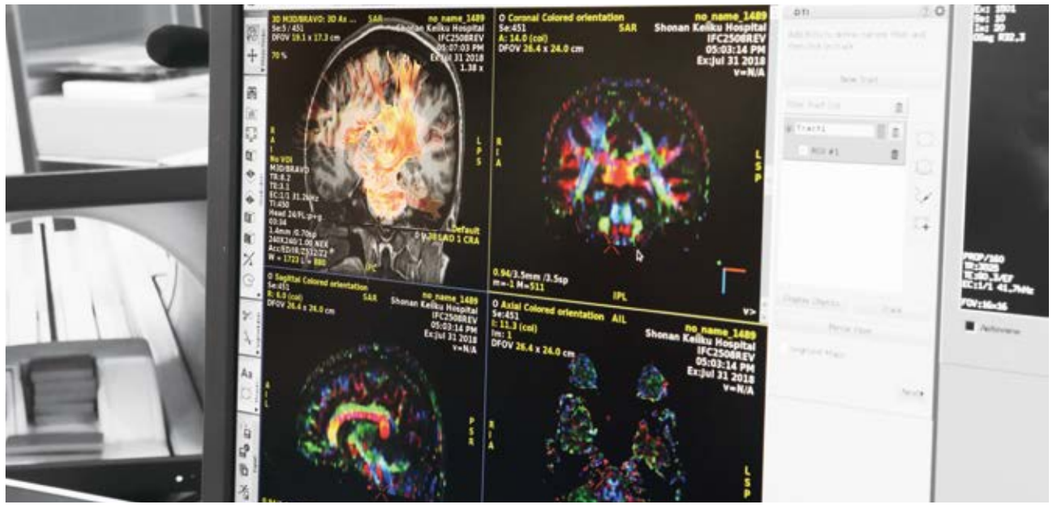
私自身、2018年3月末まで慶應義塾大学医学部に教授として勤めてきた経歴を生かし、慶應義塾大学とのコミュニケーション、ITを活用した在宅診療をはじめとする研究的な取り組みなども積極的に進め、藤沢市遠藤地区を中心とした皆様が、健康寿命を延ばし、健康を楽しむライフスタイルを作るお手伝いをして参りたいと考えています。

Profile

1977年慶應義塾大学医学部卒、2004年慶應義塾大学医学部内科学（神経内科）教授、2007年慶應義塾大学病院 副院長（兼務）、2009年慶應義塾医師会 会長（兼務）。2018年湘南慶育病院 院長 就任。日本内科学会認定総合内科専門医。日本神経学会認定神経内科専門医。日本脳卒中学会認定脳卒中専門医。日本頭痛学会認定頭痛専門医。日本認知症学会認定認知症専門医。

01 脳神経内科

「脳神経内科」では、脳や脊髄などの中枢神経、末梢神経、そして筋肉という頭の先から足の先端までの広い範囲に症状が生じる疾患を担当します。



脳出血、脳梗塞などの「脳卒中」、片頭痛・緊張型頭痛・群発頭痛などの「頭痛」、アルツハイマー病・脳血管性認知症などの「認知症」、パーキンソン病などの「神経変性疾患」などの脳神経内科疾患に対して専門的医療を行います。一部の外来においては、慶應義塾大学医学部神経内科より神経内科専門医の派遣を受けております。症状に応じ「認知症」「脳卒中」「パーキンソン病」「頭痛」の専門医の受診をお勧めします。お困りの場合は、専門に関係なく、いつでも受診してください。早期発見が重要となります。

当院脳神経内科では、「脳卒中」に対する急性期および亜急性期治療、そしてそれに続く回復期リハビリテーション、また「筋萎縮性側索硬化症などの神経難病」に対するレスパイト入院などの入院診療をリハビリテーション科などの他科と連携をとりながら、最新の専門的医療を提供します。

中枢神経の疾患	脳梗塞や脳出血などの脳卒中、脳炎、髄膜炎、頭痛、てんかん、アルツハイマー病などの認知症、パーキンソン病、脊髄炎、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症など。
末梢神経の疾患	三叉神経痛、ギランバレー症候群、慢性炎症性脱髄性ニューロパチー、多発性ニューロパチーなど。
筋の疾患	筋ジストロフィー症、多発筋炎、周期性四肢麻痺など、さらに特殊なものとして筋とそれを支配する末梢神経の接合部に生じる疾患である重症筋無力症など。

02 総合診療内科

患者さんのニーズに応じた全人的な総合内科医療を提供します。

咳、痰、鼻水、吐き気、下痢、腹痛、頭痛、めまい、動悸、腰痛、しびれ、むくみなどのあらゆる内科疾患に対して総合的な内科医療を提供します。お困りの症状で、どこの科を受診してよいかお悩みの際には総合診療内科へお気軽にご相談ください。

また、2次健診を行っております。疾患の早期発見、早期治療が重要です。健診にて異常値を指摘された方は、お気軽に受診ください。

03 呼吸器内科

長引く咳や息切れ、夜間のいびきなど、気になる症状のある方は、早めにご相談ください。

禁煙支援や、睡眠時無呼吸症候群などの予防医療から、気管支喘息・COPD（慢性閉塞性肺疾患）などの慢性期の疾患、死因の上位を占める肺炎、肺がんの終末期まで幅広く担当いたします。

外来診療	
禁煙外来〈完全予約制〉	気管支喘息
睡眠時無呼吸症候群	COPD（慢性閉塞性肺疾患）

入院診療	喘息発作、COPDの急性増悪のほか、肺炎後、体力や嚥下機能が低下しすぐに自宅退院ができない患者さんのリハビリテーションなども行います。

04 腎臓・高血圧内科

血尿・蛋白尿、浮腫、高血圧の症状や、検診や他院で腎臓が悪いと指摘された方は、ご相談ください。

当院の腎臓・高血圧内科では、近年増加の一途をたどる慢性腎臓病に対して、早い段階から介入し、将来の血液透析の予防だけでなく、心血管イベント（脳卒中、心筋梗塞、狭心症など）を未然に防ぎ、患者さんの健康寿命を保つことを目標としています。

診察内容

① 末期腎不全の血液透析の導入。
② 他院で維持血液透析を既に施行されている患者さんで、当院の療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟に入院される患者さんの血液透析の継続。
③ 高血圧・各種腎炎などの治療（外来診療）。
④ 慢性腎臓病（CKD）には、栄養士・看護師・薬剤師による患者教育「CKD教育入院」も実施。

05 糖尿病内科

当院糖尿病内科では、糖尿病や高脂血症などの代謝疾患や高血圧、さまざまなホルモンの異常（甲状腺・副腎など）による内分泌疾患を扱います。

糖尿病では、「失明・透析・心筋梗塞・脳梗塞といった合併症を防ぐための生活習慣と知識」、そして「患者さんの症状に合った薬の選択」が重要となってきます。当院糖尿病内科では、個々の患者さんの症状に合った治療法の選択、合併症精査、糖尿病教育を行っています。

初めて糖尿病と指摘された方や、重症の糖尿病の患者さんには、入院精査・加療も行っています。また、甲状腺疾患や内分泌疾患についても対応しています。

主な対象疾患

糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症・痛風、肥満症・メタボリックシンドローム、内分泌疾患など

06 消化器内科

当院消化器内科では、一般的な消化器疾患に幅広く対応しています。

当院では、超音波診断、CTスキャン、MRIなどのほとんどの画像検査に対応できます。また、食道、胃、十二指腸を対象とした上部消化管内視鏡と、大腸を対象とした下部消化管内視鏡による検査、治療を行います。小さな大腸ポリープは外来で切除可能ですが、大きめの大腸ポリープや、胃のポリープは、入院での治療が必要になります。

脂肪肝などでは、検診や健康診断での検査異常値に対する精査や、だるい、疲れるなどの不定愁訴、いわゆる未病にも対応していきます。また、肥満や過剰飲酒などの生活習慣に伴う肝障害などには栄養指導を行い、その進展予防も行っていきます。また、漢方による治療などにも力を入れています。

07 外科・消化器外科

当院外科・消化器外科では、低疼痛・低侵襲な内視鏡外科手術を実施しています。

当院外科・消化器外科を担当する松本純夫（当院顧問）は1991年以来、内視鏡外科の低疼痛に着目し技術向上を目指してきました。これらの経験を生かし、また慶應義塾大学医学部外科と密な連携を図りながら、当院においても臨床活動に取り組んでいます。

当院外科・消化器外科の外科手術では、低侵襲な治療が可能な腹腔鏡を用いた手術を行うことを特色にしています。機能的で効率的な最新の設備の手術室を備え、より患者さんの負担が少ない手術を心がけています。

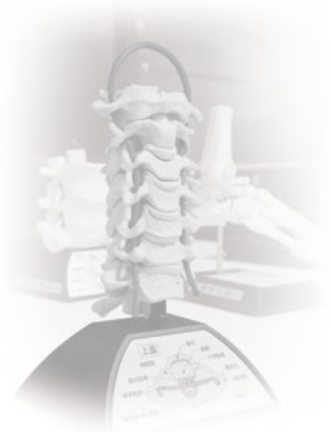
08 整形外科

体を支え動きに関連する器官である「運動器官の疾患」のプロフェッショナルです。

「整形外科」は四肢および脊椎疾患や外傷を中心に骨・関節・筋肉を扱う分野です。具体的には腰痛・膝痛・頚部痛・肩痛・骨折・捻挫・打撲など、痛み全般に関してだけでなく、骨粗鬆症などの代謝疾患を専門とします。

当院では整形外科一般の他、脊椎・外傷・手の外科などの専門医が幅広く担当いたします。

主な診療内容	
骨　折	捻　挫
打　撲	五十肩
急性腰痛症	腰椎椎間板ヘルニア
腰部脊柱管狭窄症	変形性股関節症
変形性膝関節症	骨粗鬆症



09 眼科

当院眼科では、眼科疾患一般の診療を行っており、主に白内障、緑内障、糖尿病網膜症などの疾患の治療を行っています。

当院眼科では一般的な疾患に幅広く対応しており、加齢が原因で生じる白内障、加齢黄斑変性、緑内障の早期発見と治療に特に力を入れています。また、緑内障と並んで日本人における失明原因の上位に位置する糖尿病網膜症の早期発見、治療も行っています。

糖尿病網膜症や加齢黄斑変性などから生じる黄斑浮腫に対して、当院では抗VEGF製剤を用いた硝子体注射を導入しており、治療が必要な患者さんを積極的に受け入れています。

当院では入院施設を有していますので、重篤なぶどう膜炎や網膜中心動脈閉塞症といった緊急を要する疾患に入院対応で治療を行うことができ、また全身に合併する眼科疾患では当院内科や他の科と協力して治療を行うことができます。

目の違和感、結膜炎、花粉症、ドライアイなどの症状に対しても丁寧な説明を心がけています。

※コンタクトレンズ診療には現在対応しておりません。

手 術

白内障手術、翼状片手術、霰粒腫切開術などを行っております。
また、外来にて各種レーザー治療も行っております。

検 査

網膜の血管疾患に対して蛍光眼底造影検査／緑内障や脳疾患に対してゴールドマン視野検査／ハンフリー視野検査／眼球運動を検査するHess検査／網膜感度を測定するフリッカー検査／網膜機能を評価する網膜電位図／網膜や視神経の形状を評価する眼底三次元画像解析（OCT）／角膜内皮細胞検査／超音波検査などの各種眼科検査を行っております。また、ドライアイなどで目の表面の涙の状態が不安定な場合は、視力は良いものの、実際は日常で見えづらいことがあります。このような場合にはご希望に応じて実用視力計を使用した日常での実用的な視力を測定し評価することができます。

10　循環器内科

血液の循環に関係する臓器(心臓、大動脈、末梢動脈、静脈、肺動脈)におきる病気を扱っています。

胸の痛み、動悸、息苦しいなどがありましたら、狭心症、不整脈、心不全などの疾患が隠れている可能性がありますので、当院にご相談ください。また、高血圧などの生活習慣病の診療も行っております。お気軽に受診してください。

11　耳鼻咽喉科

耳・鼻・のどの症状でお困りの方は、お気軽にご相談ください。

難聴・耳鳴り・耳だれなどの疾患をはじめとする耳の病気、くしゃみ・鼻水・鼻づまりなどのアレルギー性鼻炎や花粉症をはじめとする鼻の病気、のどの扁桃腺の腫れや痛み・飲み込みの異常をはじめとする喉の病気が気になりましたら、当院にて受診してください。

12　泌尿器科

腎臓、膀胱、前立腺など尿路性器の病気に対して専門的な診療を行っています。

泌尿器科は腎臓、尿管（腎臓と膀胱をつなぐ部分)、膀胱、尿道といった排尿に関わる領域から前立腺、精巣などの生殖に関わる臓器、陰茎や陰嚢などの外性器、副腎などの内分泌疾患に至るまで多岐に渡り診療を行っております。

内科系から外科系まで幅広く診ておりますので、排尿や性器などでお困りの際はお気軽に受診してください。

13　乳腺科

様々な乳房に関する疾患の診療を行っています。

乳腺の病気には、腫瘍性の病気（乳癌、線維腺腫、葉状腫瘍など）や非腫瘍性の病気（乳腺症、乳腺炎など）があります。乳房のしこり・へこみ・痛みや乳頭分泌物など、何か気になることがありましたら、当院にて受診してください。

また、乳癌は、日本人女性の中で、病人の数はもっとも多いですが、早期発見すれば根治する可能性が高い癌でもあります。こちらについても、当院にて検査ができます。

14　皮膚科

皮膚の病気全般を対象に診察しております。

皮膚科は年齢や病変の部位を問わず、新生児からご老人まで口腔粘膜や外陰部も含めた全身の皮膚と皮膚の付属器（爪や毛髪）の病気を診察、治療しております。水虫やアトピー性皮膚炎、にきび、治りにくい湿疹やじんましん、皮膚腫瘍など皮膚に気になる症状があればご相談ください。尋常性疣贅（じんじょうせいゆうぜい）などに対する液体窒素による冷凍凝固療法は対応しております。

当院では保険診療のみ対応しており、しみのレーザー治療や陥入爪の自費治療は行っておりません。

15　物忘れ外来

物忘れの原因になる疾患は多岐にわたり、適切な診断と治療が重要です。

診察、心理検査、画像検査などを用いて、物忘れの原因疾患を診断し、加療を行います。各疾患により治療方法は大きく異なり、診察、検査によりしっかりと診断を行うことが大切になります。物忘れに関してご心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

16 リハビリテーション科

湘南慶育病院は科学的根拠に基づく最先端のリハビリテーションと地域に根差すやさしいリハビリテーションをめざしています。

入院リハビリテーション

回復期リハビリテーション

脳卒中や骨折などの急性期治療終了直後からのリハビリテーションです。できるだけ早期に機能を回復させ、自宅や社会に復帰していただくことを目的としています。

■ **病棟リハビリテーション**
早期の家庭復帰を目的として、病棟での生活を家庭での生活と見立て、リハビリテーションをすすめます。

■ **最新の機器を用いたリハビリテーション**
リハビリ室では患者さんの症状にあわせて、最新の機器を用いたリハビリテーションを行っていきます。

■ **家庭復帰のためのサポート**
患者さん、ご家族の現在そして今後の生活に関する不安に対し、入院直後から医療ソーシャルワーカーが中心となりサポートしていきます。

薬剤科

患者さんや地域の皆さんに安心・安全で、より良い医療を提供できるように努めます。

チーム医療の一員として。患者さんの健康とQOL（生活の質）を改善・維持するために、質の高い薬物療法を提供します。

放射線科

各種画像検査を実施し、画像診断を行っています。

一般撮影・CT・MRI・X線TV・マンモグラフィなど、さまざまな最新機器を使用した検査を実施しています。診断価値の高い画像を迅速に提供し、患者さんの病気の診断・治療に役立てるように日々努力しています。

臨床検査科

正確で信頼される検査を心がけています。

臨床検査科は血液や尿などの検体検査と、心電図・超音波・脳波・筋電図検査など患者さんを直接検査する生体検査からなります。患者さんが安心して検査を受けていただくために安全を順守し、正確で信頼される検査を心がけています。

栄養科

患者さん一人一人の症状や栄養状態及び嚥下機能に配慮した食事を提供しています。

入院中でも季節を感じられるよう旬の食材を取り入れたメニューを作成し、毎月行事食を提供しています。また、食事療法が必要な方には個別で栄養相談を行っています。

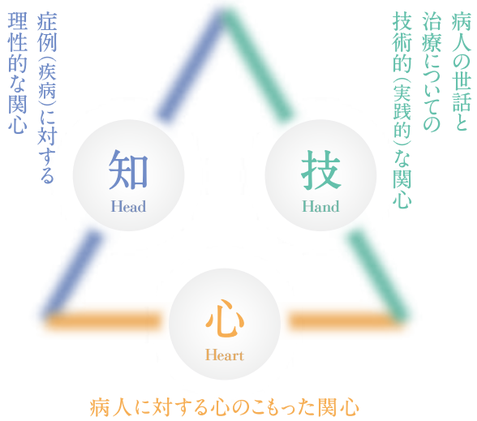
※ 写真は「敬老の日」の行事食です。
「赤飯・天婦羅・炊き合わせ・菊花なます・まつたけの吸い物・栗のケーキ」

看護部

医療法人社団 健育会 湘南慶育病院 看護部は、健育会グループの一員として
健育会グループの看護理念「患者が求めている安心感を提供する」に基づき看護を実践します。

健育会では、患者さんが看護師に求めていることは“安心感”だと考えています。これは、看護師一人ひとりの「三重の関心：Threefold interest（Florence Nightingale）」の上で成り立ちます。

図の様に「知・技・心」の3つが大きく、きれいな三角形を描くことが重要です。そしてこの3つの積み重なる成果によって個人が成長し、看護師としての使命感が培われていくと考えています。また、私たちは「100-1≠99」「100-1＝0」という考え方を持っています。99人が一生懸命頑張っても、意識の低い職員が1人でもいると信用は「ゼロもしくはマイナス」になってしまうという考え方です。「100-1＝0」の意味を病院職員全員が自覚する看護を実践します。



看護部理念

すべての方々に誠意をもって接し、笑顔を忘れず、
思いやりのある看護・介護を実践します。

看護部方針

1. 患者さんの立場に立ち、人格を尊重した看護・介護を提供します
2. 患者さんの状態にあった適切な看護・介護を提供します
3. 患者さんや家族が納得できるよう丁寧な説明を行い、同意を得ます
4. 他部門と協働し、チームアプローチを活用した看護・介護を提供します
5. 地域の皆さんと連携した看護・介護を提供します

認定看護師

認定看護師は、高度化し専門分化が進む医療の現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。「認定看護分野」ごとに日本看護協会が認定しています。
当院には「感染管理」「緩和ケア」の認定看護師がおり、病院全体の患者さんのケアや職員への教育を実施しています。

看護部門

外来

一般診療や特殊外来、血液透析室を担当しています

総合診療内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓・高血圧内科、糖尿病内科、消化器内科、外科・消化器外科、乳腺科、整形外科、眼科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、物忘れ外来、心療内科などの診療と、内視鏡検査・治療、血液透析、健康診断を行っています。また、外科、整形外科、眼科、皮膚科では、可能な疾患に対し、日帰り手術も行っており、患者さんのご希望に沿った受診、治療の相談も受けております。

手術室

眼科、整形外科、消化器外科などの手術を行っています

手術室は2室あります。眼科では硝子体注入や白内障手術、整形外科では関節鏡視下手術、骨折による骨接合術、脊椎の手術、ばね指・手根管症候群に対する小切開術など、消化器外科では低疼痛・低侵襲な内視鏡外科手術などを実施しています。

病棟

3階東病棟
【一般床】
30床

内科、外科を問わず急性期の患者さんを受け入れます

院内、院外からの緊急入院、手術患者の受入れを行い、また、院内に入院されている方の緊急処置などの対応も行っています。安心、安全、安楽に配慮した看護を提供しています。

4階南病棟
【療養病棟】
50床

その人らしい生活ができることを支援します

日常生活援助を主体にその人らしい生活ができることを目的とした患者さんに、療養していただく病棟です。家族と少しでも穏やかな日々が過ごせることを目的に看護しています。

4階東病棟
【地域包括病棟】
50床

地域で自分らしく生活していくことを支援します

手術や検査が終了した後、在宅（施設）への退院に不安のある患者さんに対して「準備を整える」ための病棟です。安心して地域へ戻れるように退院調整を行っています。短期間の入院もできます。

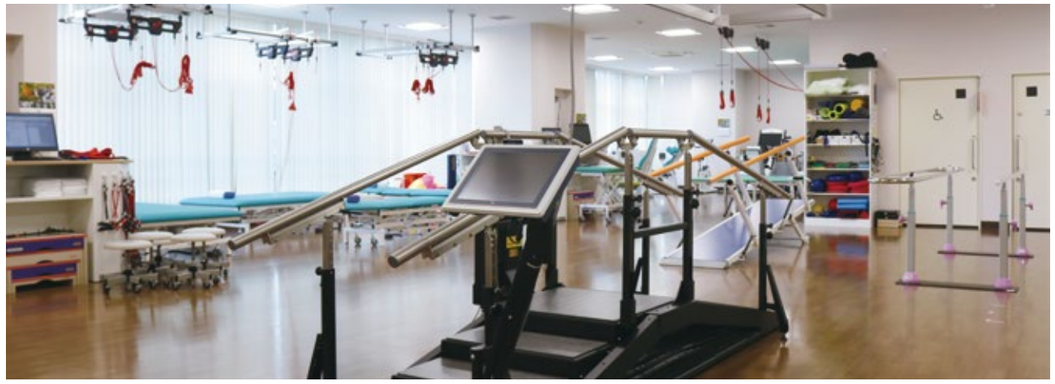
5階南病棟
5階東病棟
【回復期病棟】
各50床
（計100床）

集中的なリハビリを行い、日常生活の自立を支援します

脳血管疾患または大腿骨頚部骨折などにより日常生活に障害が生じた方が、主に在宅復帰などに向けて機能回復を目的としたリハビリを集中的に行う病棟です。日常生活の自立ができるよう看護師と共に多職種が連携してサポートします。

リハビリテーション部

**当院には、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が多数在籍し、
明るく広々としたリハビリテーション室に数多くの機器が整備され、
入院から在宅復帰までシームレスなリハビリテーションを365日提供しています。**



常勤リハビリテーション医師のリハビリテーション計画のもと、急性期、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟への入院患者さんにリハビリテーションを提供しています。回復期リハビリテーション病棟では在宅復帰率や、日常生活動作の改善点を向上するためのリハビリテーションを提供しています。

院内では、医師、薬剤師、管理栄養士、看護師、社会福祉士と連携をとりながら社会復帰を目指します。

他病院との連携には、医療から介護までシームレスなサービスを提供する体制でソーシャルネットワーク・サービスを取り入れています。さらに、地域連携パスを積極的に活用し情報共有を図り、紹介元病院には退院時の状況をお知らせし連携に努めています。

理学療法

病気、けが、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある人々に、運動機能の維持・改善を目的に運動、温熱、電気、水、光線などの物理的手段を用いて行われる治療法です。

作業療法

病気やけがなどで、日常の生活に関わる諸活動（セルフケア（着替え、トイレなど）、家事、仕事、地域活動など）に支援が必要な人々に、健康と幸福を促進するために作業に焦点を当てた治療、指導、援助です。

言語聴覚療法

ことばによるコミュニケーションに問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する治療法です。また、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。

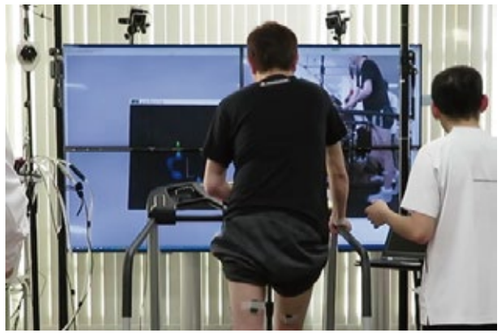
リハビリテーション機器

車椅子、福祉用具

車椅子や福祉用具はセラピストが評価を行い、**個々の患者さんの体型に合わせ**てレンタルを行っています。
（レンタル料金は、病院負担です。）

ウォーキングマシン

圧力センサーが内蔵されたウォーキングマシンは、歩行時の足底の圧力と姿勢がリアルタイムに測定できます。前方の大型モニターに「どのように歩いているのか」が表示されるので、**その場で修正が可能となり、歩行能力の向上が期待**できます。



天井設置型免荷装置

天井設置型免荷装置は、**ハーネスを装着し天井から身体を吊るので転倒することが無く、安全な歩行練習が可能**となります。
ウォーキングマシンと比べ、平地での歩行の感覚に近づきます。免荷量によっては無重力に近い感覚で歩くことも可能です。

昇降式階段システム

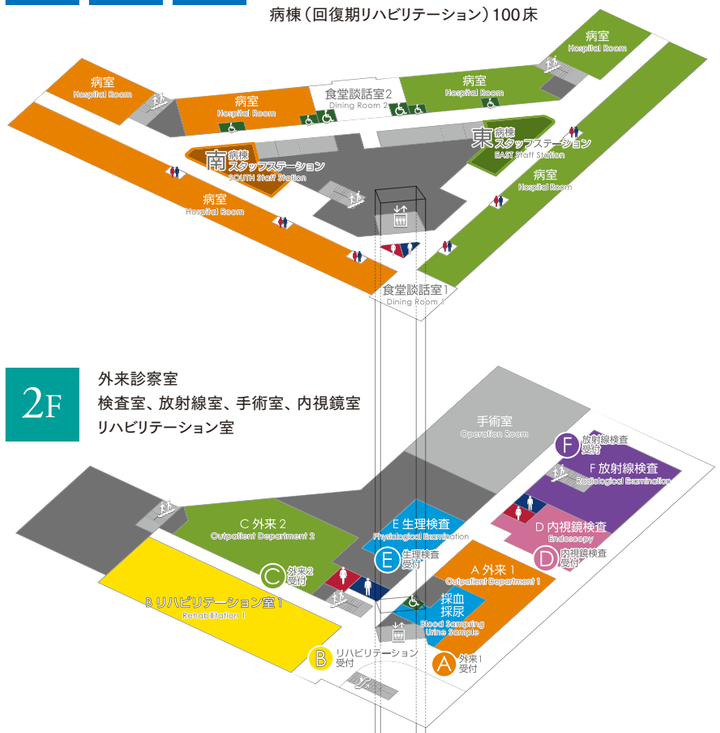
日本に数台しか導入されていない、昇降式階段システムです。ボタン操作で段差が変更でき、運動能力に合ったレベルで階段昇降が可能です。ご自宅の環境に合わせることもできます。

その他にも、最新の機器を多数用意しております。

フロアマップ

3F 4F 5F

病棟（一般）30床
リハビリテーション室、透析室、健診ラウンジ
病棟（療養・地域包括ケア）100床
病棟（回復期リハビリテーション）100床



2F

外来診察室
検査室、放射線室、手術室、内視鏡室
リハビリテーション室

1F

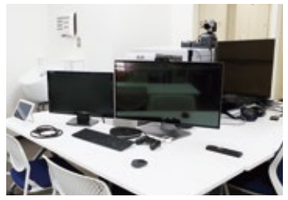
総合受付、会計、コンビニエンスストア
救急外来、薬局、検査室
未病・抗加齢センター / ネット診療センター
地域連携・健康マネージメント室、保育室
ヘルスサイエンスラボ
（湘南慶育病院連携ラボ）

手術室

2つの手術室で、消化器外科、整形外科、眼科などの手術に対応します。

リハビリテーション室

広い解放的な空間で、様々なリハビリテーションプログラムをご用意しています。



未病・抗加齢センター
ネット診療センター

未病あるいはアンチエージングの治療にSNS（ソーシャルネットワークサービス）を使い、健康寿命の延伸に役立てます。

救急ホール

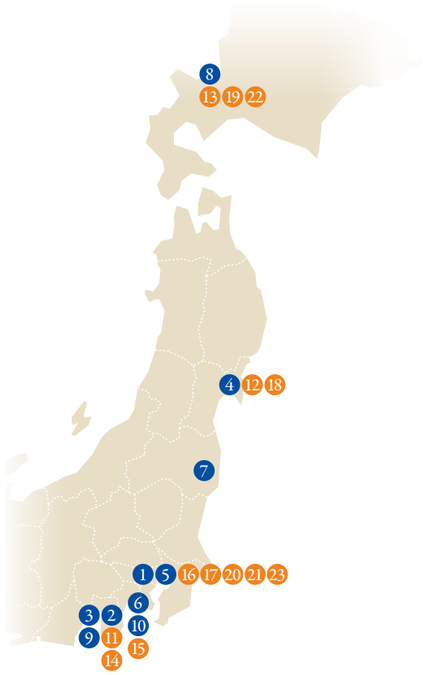
地域のニーズに応え、インフルエンザなど感染症のための個室も完備し、あらゆる救急に対応できる設備を備えています。一般の患者さんとは別の入り口を設け、動線が交わらないよう配慮しています。

エントランスホール

入り口をお入りいただくと、吹き抜けの開放的なスペースが皆さまをお迎えします。
初診の場合でも、紹介状はお持ちいただかなくても受診いただけます。再診の場合は、入り口すぐの再来受付機をご利用いただきますと、エスカレーターでスムーズに外来にお越しになることができます。

全国の健育会グループ施設

健育会グループは、主に東日本を中心に8病院・2クリニック・13介護施設・47介護事業所を有する医療法人グループです。



医療法人 健育会グループ

医療施設

1. 竹川病院
2. 熱川温泉病院
3. 西伊豆健育会病院
4. 石巻健育会病院
5. ねりま健育会病院
6. 湘南慶育病院
7. いわき湯本病院
8. 花川病院
9. 土肥クリニック
10. 茅ヶ崎 セントラルクリニック

介護施設

11. 介護老人保健施設 しおさい
12. 介護老人保健施設 しおん
13. 介護老人保健施設 オアシス21
14. 介護付有料老人ホーム ライフケアガーデン熱川
15. 介護付有料老人ホーム ライフケアガーデン湘南
16. 特別養護老人ホーム ケアポート板橋
17. グループホーム かもめの家
18. ナース イン ホーム ひまわり
19. ナース イン 花ぴりか
20. 介護老人保健施設 ライフサポートひなた
21. ケアセンターけやき
22. サービス付き高齢者向け住宅 花ぴりか
23. 介護老人保健施設 ライフサポートねりま

近隣の健育会グループ施設

湘南慶育病院
神奈川県藤沢市遠藤4360
[TEL] 0466-48-0050

茅ヶ崎 セントラルクリニック
神奈川県茅ヶ崎市幸町6-1
[TEL] 0467-87-3322

ライフケアガーデン湘南
湘南慶育 訪問看護ステーション
神奈川県藤沢市稲荷1-9-40
[TEL] 0466-29-9510